

第5回

# 予防・健康づくり領域の 社会実装に向けたシンポジウム

令和8年3月12日(木) 13:00～17:30

会場 丸ビルホール&コンファレンススクエア 丸ビルホール (東京都千代田区丸の内2-4-1 丸ビル7階)

主催 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

日本医療研究開発機構(AMED)は、経済産業省と連携し、エビデンスに基づく予防・健康づくりのヘルスケアサービスの普及を目指しています。その一環として、サービス事業者の開発やサービス利用者の選択に役立つよう、医学会を中心とするエビデンスを整理した指針の策定や、エビデンス構築のための新たな研究手法・評価ツールの開発を行っています。

本シンポジウムでは、今年度公開した働く世代における二次・三次予防領域の3指針(脂肪肝関連疾患・循環器疾患・婦人科疾患)の紹介や活用方法の紹介、また、ヘルスケアサービスの利用継続をテーマとしたセッションを用意しております。

セッション後には、現地参加者限定のネットワーキングタイムもあり、交流や知見の共有の場としてご活用いただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

## 特別公演

### 経済産業省が進める質の高いヘルスケアサービスの創出・振興に向けた取り組み

経済産業省 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課長 福田 光紀 氏

### 予防・健康づくりの進展と今後の展望

厚生労働省 健康・生活衛生局 健康課長 丹藤 昌治 氏

## セッション1

### 医学会発、予防・健康づくりの「指針」を重症化予防へ拡大 ～働く世代を支える科学的エビデンスの活用～

基調講演 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 健康情報学分野 教授 中山 健夫 氏

指針紹介 脂肪肝関連疾患 東京慈恵会医科大学大学院 代謝栄養内科学 教授 吉田 博 氏  
循環器疾患 聖路加国際病院 循環器内科 / 医療の質管理室 室長 水野 篤 氏  
婦人科疾患 東京科学大学大学院医歯学総合研究科 教授 寺内 公一 氏

総合討議

## セッション2

### ヘルスケアサービスの「継続」と「成果」をどう生み出すか？ ～研究成果と先進事例から探る、利用定着へのアプローチ～

基調講演 株式会社Wellmira 代表取締役社長兼CEO 渡辺 敏成 氏

事例紹介 信州大学大学院医学系研究科 スポーツ医科学 教授 増木 静江 氏  
京都大学大学院医学研究科 健康医療DX講座 特定准教授 峰晴 陽平 氏

総合討議

## 開催形式

ハイブリッド開催(丸ビルホール+オンライン配信(ZOOM))

## 定員

現地300名 オンライン1000名

## 参加対象

- ヘルスケアサービスを開発している/関心のある事業者
- ヘルスケアサービスを利用/導入検討中の企業・健康保険組合・自治体等の団体
- 医療従事者
- アカデミア
- メディア関係者等

## 申し込みURL

<https://healthcare-service.amed.go.jp/symposium fifth/>

※事前予約制・参加費無料

申込サイトには  
QRコードからも  
アクセスできます



ヘルスケアサービス事業者・利用者向け情報サイト

**E-LIFE**  
ヘルスケアナビ  
エビデンスで支える健幸社会



<https://healthcare-service.amed.go.jp/>



主催:国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)

後援:経済産業省、厚生労働省